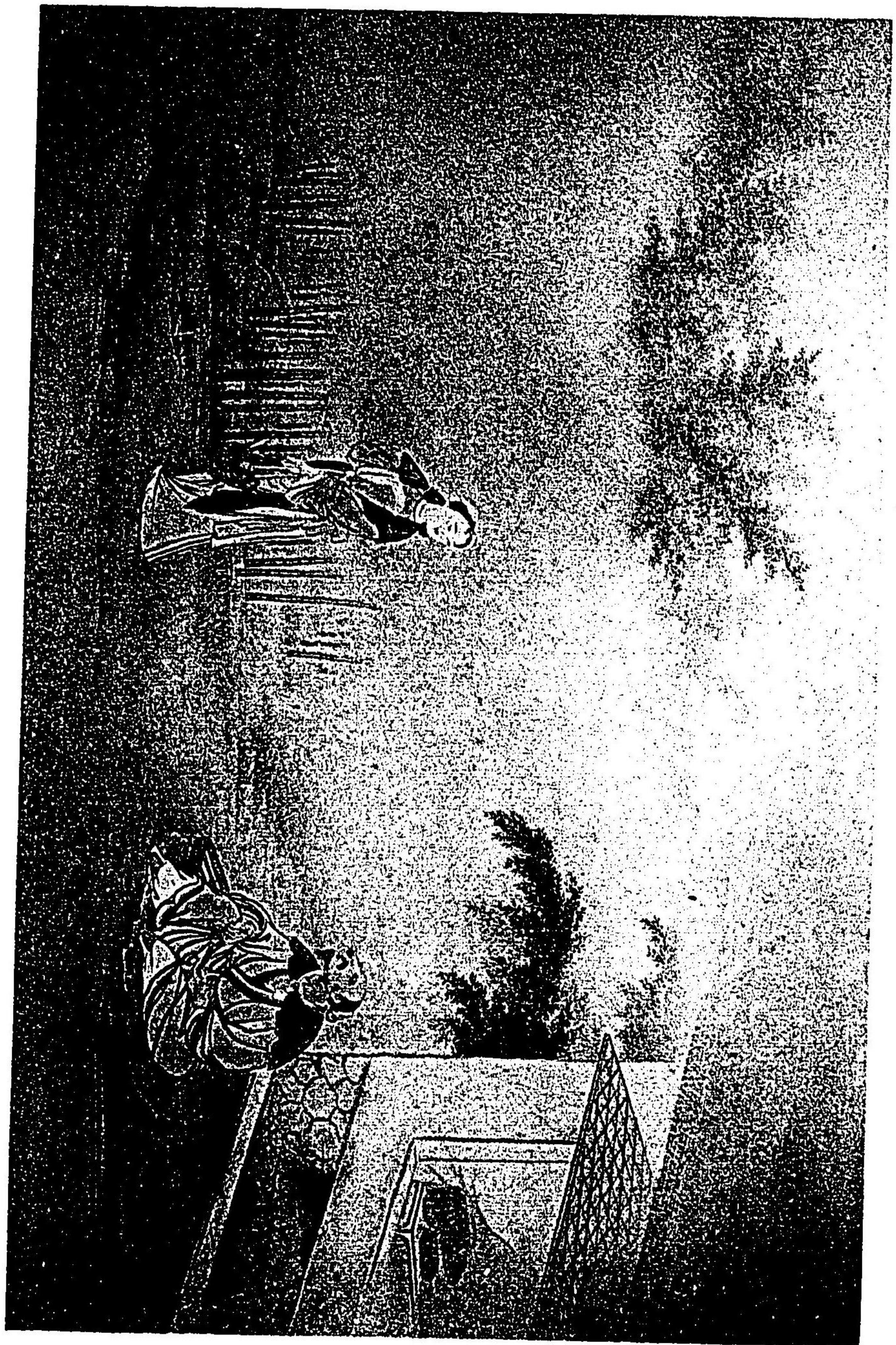


文珠菩薩圖

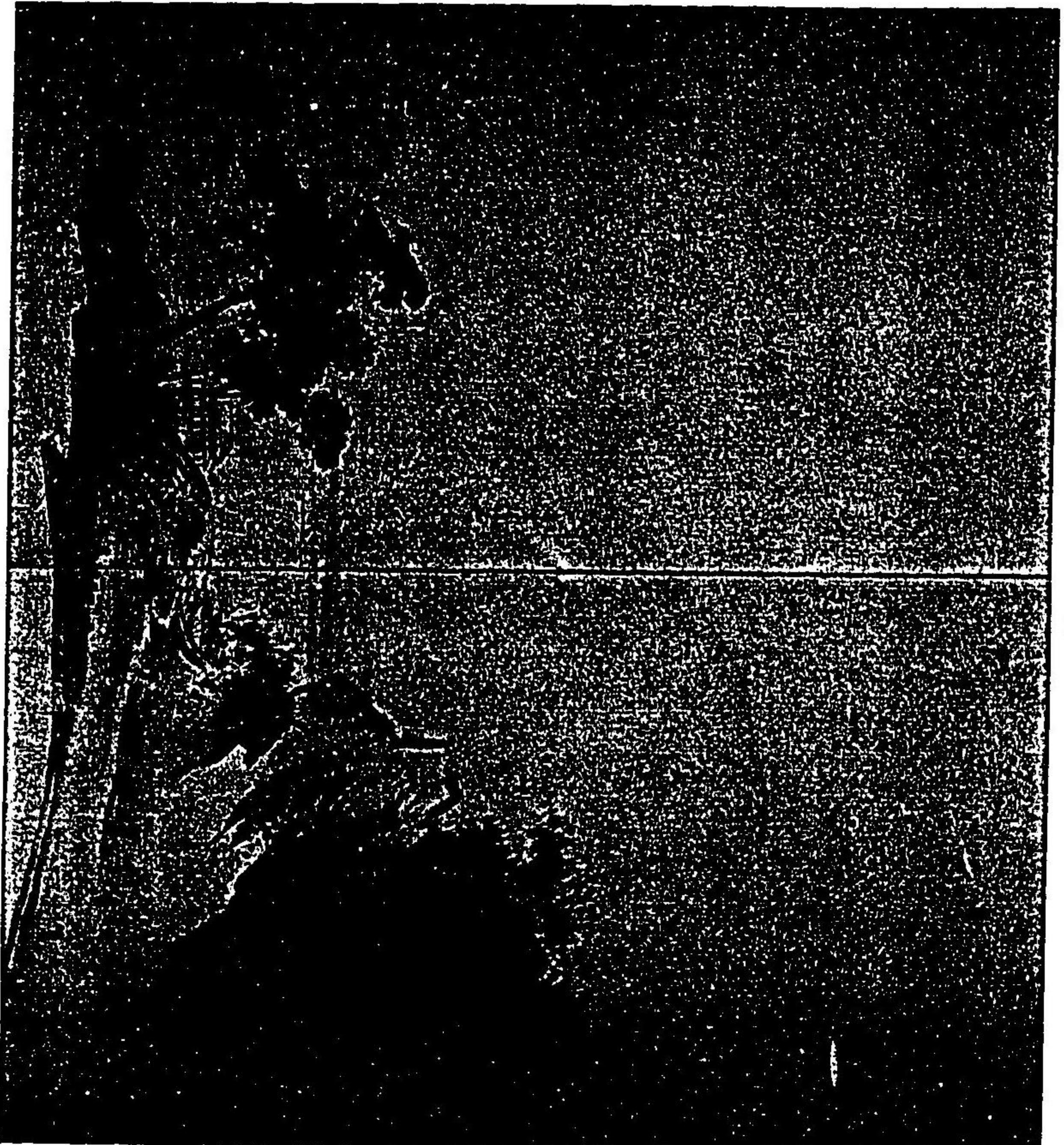


村上文七君藏



靈昭女圖

古川 泰七 君藏



江村晚歸圖 二曲屏風

井上徳兵衛君藏



柳灣繫艇圖 三曲界風

井上徳兵衛君繪

二大美術雑誌

毎月二回(五日、二十日)発行 アートタイフ寫真版印刷
 並製洋紙 一冊 正價 金貳拾五錢 郵稅 金壹錢
 前金 六箇月十二冊 金貳拾八拾錢
 割引 二箇年廿四冊 金五拾四拾錢
 上製一冊 正價 金五拾錢(前金非) 郵稅 金四錢(製倍額)
 美術書報は時の新古洋の東西を問はず凡ての名畫妙刻其他優秀なる美術工藝品等を鮮明なるアートタイフ(寫真版)を以て印刷掲載するものなるを以て鑑賞家机上の情友たるり又技術家の良師たり每號購入して之を座右に備ふれば終に世界の名畫珍品を蒐集して網羅せらるゝに至るべし其代價の餘りに低廉なるは畢竟本社の微意の存する所にして常に購客の驚嘆せらるゝ所なり

美術書報

一部 金五錢 郵稅 金五厘
 前金半年分郵稅共 金六拾參錢
 一箇年分郵稅共 金壹圓貳拾錢

美術新報は我が唯一の美術機關にして内外美術界の情勢を知らんとする者は一日も之を忘る可からず美術新報は主として内外美術界美術工藝界の出來事を公平に詳細に報道し且つ名家の新説を紹介す
 美術新報は材料の豊富は勿論每號精巧鮮麗なる網目寫真版を挿入して内外新古の繪畫彫刻、圖案其他工藝品を寫し且つ美術家の肖像寫真等を掲載す
 アートタイフ寫真版印刷

美術新報

一 帙全十二枚 寸法 一尺五弁 横 七寸八分
 一 帙 正價 金六拾錢 郵稅 金四拾錢

ミレーの畫譜

目次 子守 養物 養鷄 山羊牧者 駝馬 接木 初歩 會食 雨宿り 牧羊
 絶世の畫傑としてバロン派の巨壁として世人の欽慕已む能はざるミレーの傑作十二點を撰びて之を鮮明なるアートタイフに印刷したるものにして一閱世界の名畫たるミレーの作の神髓を窺ひ知るに足るべし

芳崖遺墨

上篇 一冊 正價 金六拾五錢 郵稅 金四拾五錢
 下篇 一冊 近刊

近世時代の天才として世の嘆惜措かざる故狩野芳崖氏の傑作三十餘圖をアートタイフ寫真版にて印刷したるもの其畫或は英才爛熳或は不羈横逸其趣味常に盎然たるは氏が一奇才たる所以なり其風手を窺はんぞするものは本書を翻て何者にか依る可き下篇近刊行全きを致さんとするも上篇の或は缺本となるの虞あり遅れて臍を噬むの悔なからんことを乞ふ

發行所

東京市神田區蓮雀町十八番地(電話本局二八六三) 報社

85
361

明治三十六年九月三十日印刷
 明治三十六年十月五日發行

正價金貳圓八拾錢

編輯者 河内菊太郎
 發行所 東京市本郷區春木町三丁目三十九番地
 印刷者 齋藤章達
 印刷所 東京市日本橋區兜町二番地
 東京印刷株式會社
 發行所 東京市神田區連雀町十八番地
 電話本局二八六三番

寫真版石版刷繪畫類

各大家合作 六枚一組 風景其他

色鉛筆
 スケッチ
 (第一版) (第二版) (第三版) (第四版) (第五版) (第六版)

正價金拾貳圓
 郵正稅價金拾貳圓
 稅價金拾貳圓
 金拾貳圓
 錢拾貳圓
 錢拾貳圓

色鉛筆を利用して風景、花卉、動物、人物等のスケッチを描きたるものにして一面には習用たると共に一面には裝飾用たり斬新の趣向によりて趣味と實用とを併有す

小山正太郎先生筆 (水彩畫)

馬上軍人圖

各一枚

淺井忠先生筆 (油繪)

大原女花賣圖

(刷度十二色彩版石)

定價金貳拾五錢

三宅克巳先生筆 (水彩畫)

雨後の大阪城圖

簡代共 郵稅金四錢

洋畫現代の泰斗たる三先生の各特長とせる畫題を撰ひ幾多の日子と滲透たる苦心とを拂ひて作成されたる原畫を東京印刷株式會社の得意たる石版印刷を以て刷出し之れを第五回内國勸業博覽會に出品して非常の褒賞を博し得たるものゝ原形印刷圖を縮形して大方に類つものは何れも教育的學童若くは精神の室内裝飾として最も好適のものなり

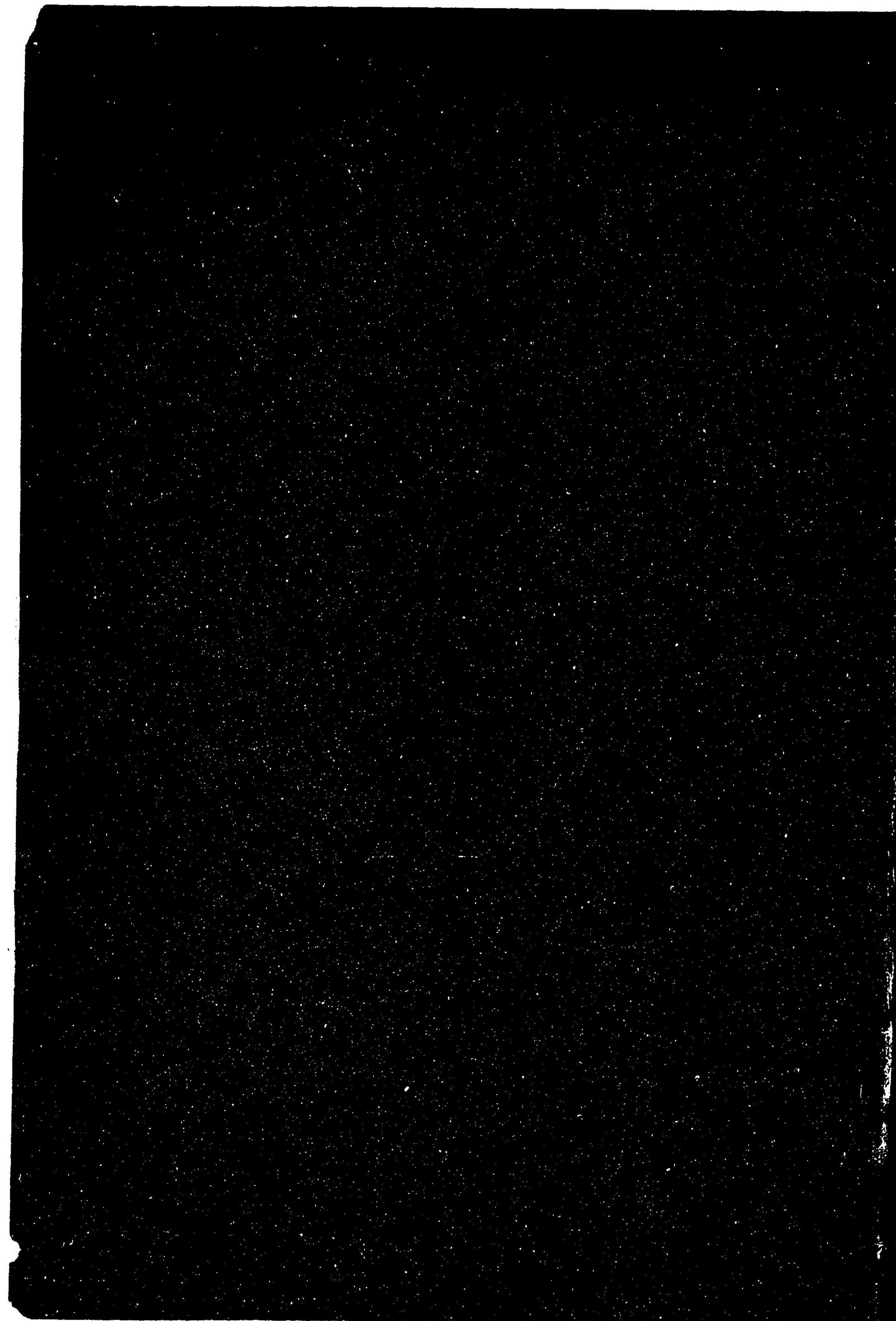
石版彩色刷 毎月一種宛發行

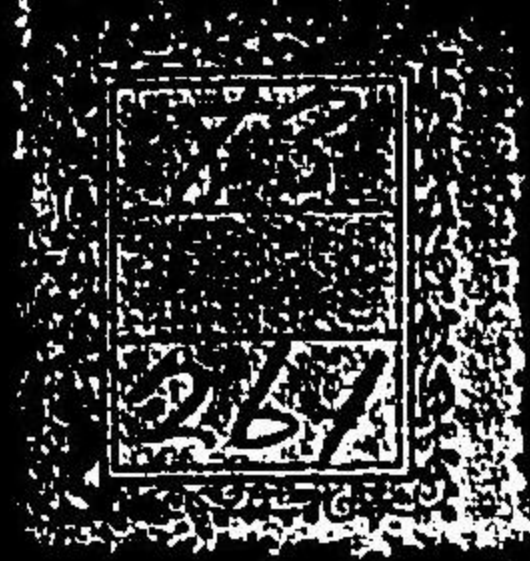
寫生 百 花 欄

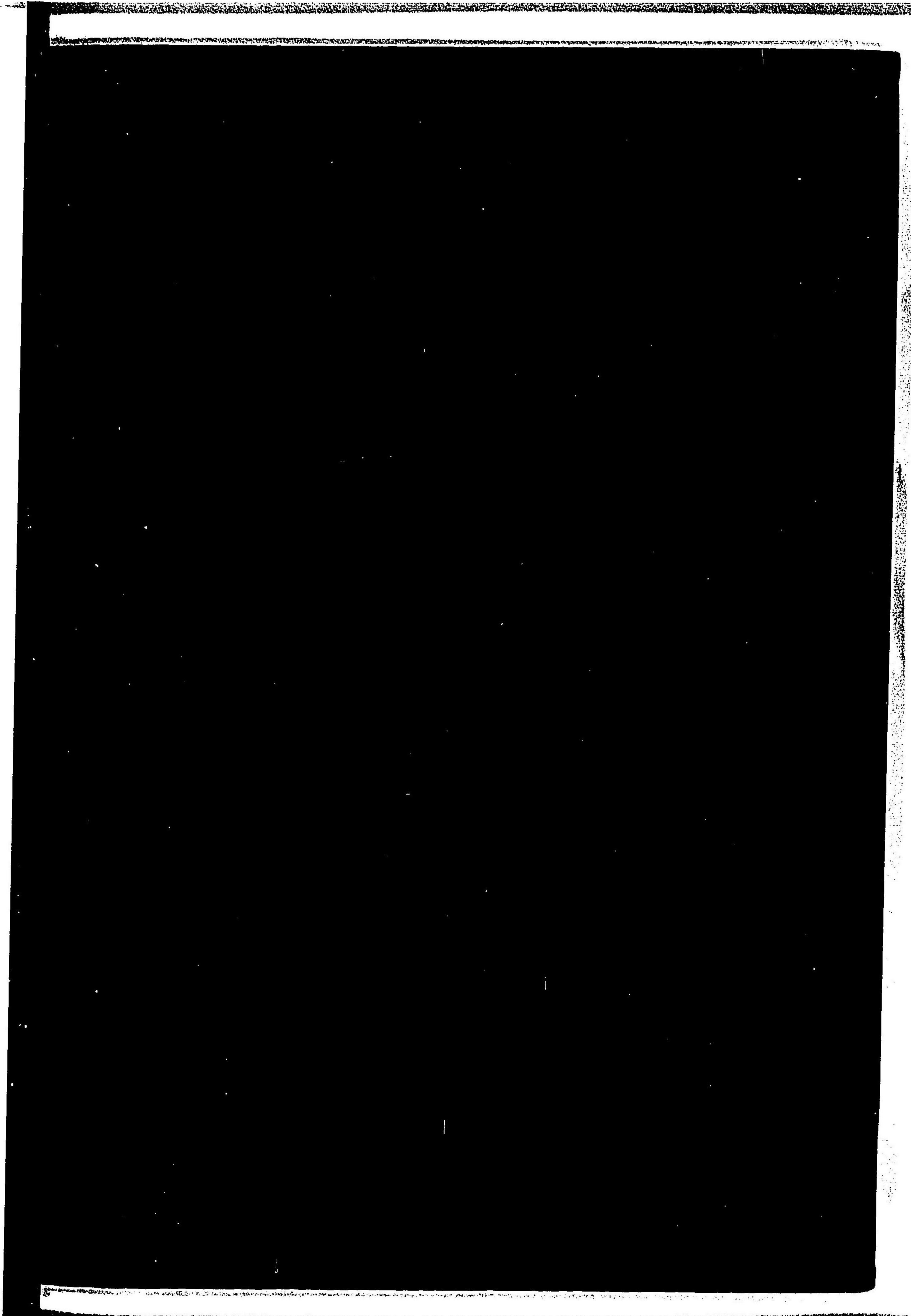
寸法 八 尺 一 寸

一 刺 花 一 枚 正 價 金 七 錢
 二 雄 蝶 花 一 枚 郵 稅 五 錢 送 金 貳 錢

發行所 東京市神田區連雀町十八番地 畫報社







83
261

069725-000-9

83-261

共寿余録

河内 菊太郎／編

M36

CEC-0438

